



ホームページアドレス www.i-coop-npo.org

をご覧ください！

また、どんなご意見でもお寄せくだされば大歓迎です。

担当のヘルパーに託して下さい。

2月になり節分の豆まきが終わると春の気配を感じたいところですが、寒さもいちだんと厳しい今日このごろです。2年前の春は、クルーズ船「ダイヤモンド・プリンセス号」が2月3日に横浜港に入港して、船内で新型コロナウイルスの感染者が拡大し、その1年後の2月は「緊急事態宣言」が発出されています。そして今年は今、懸念されていた第6波が到来し新型コロナウイルスのオミクロン株が猛威をふるって、まん延防止等重点措置が発出されています。ところで、この2年間のなかで私たちは何を学んできたのでしょうか？

昨年末に第5派の感染が収まっていました。しかし、今のオミクロン株の流行は海外の例をみれば、当然に予測ができたことです。政府も国民も危機管理意識が軽薄で、第6派が来る前にやるべきことをやらずして、年末年始の移動や会食を行なった結果が今の状態を作っています。何故、3回目のワクチン接種が第6派が到来するまでに3%も達していなかったのでしょうか？ オミクロン株は感染者が多くても重症化する人は少ないとか、死者も少ないから経済を動かすには規制をするのは間違いだという論客もいます。確かに率としては、デルタ株に比べるとかなり低いですが、絶対数としての重症者、死者が増えてきているのが事実です。先ほどの論客は、この重症者はもともと基礎疾患があったり、持病で死んだ人がたまたまコロナに感染しただけの事で、騒ぐのは誤りだとも言っています。皆さんはどのようにお考えでしょうか？

いずれにしても、新型コロナウイルスは0にすることは不可能に近く、ウイルスも変異していくなかで、どのように共生するかということを模索しなければなりません。ワクチン開発と治療薬がどの程度進めば、新しい日常を作り出せるのか、その時の日常の行動はどうあるべきか、日本人も含め人類が今直面している最大の課題です。SDGS（持続可能な開発目標）を実現する上でのベースになるテーマだと考えます。

横浜市では、ようやく一般の高齢者へのワクチン接種がスタートしました。交互接種は副反応の影響を考えて好まないとする方がいます。特に、ファイザーを2度接種した人は、モデルナを打つ時には抵抗があるようですが、モデルナは前回の半分の量の接種で、ファイザーよりも副反応が強いという事実はないとのこと。

副反応は人それぞれということであり、それよりもどちらでも良いので早くワクチン接種を急ぐことが大事だとのこと。2回接種を終えたひとでも現在抗体値がかなり下がり感染者がでてきていることと、3回目をうっても抗体がしっかりとできるまで1週間くらいはかかるということ、とにかく早くワクチン接種をすべきだというのが感染症専門家の多くの見解です。

2月の簡単レシピ

～ぶりの柚香蒸し～

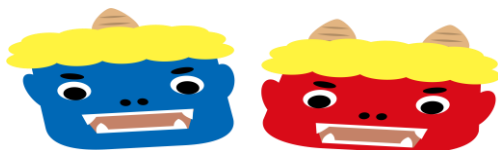


～材料（2人分）～

- ・ぶり(切り身) 2切れ
- ・ブロッコリー 60g
- ・しめじ 1/2パック
- ・醤油 大さじ1
- ・本みりん 大さじ1
- ・ゆず(皮) 少々

～チェックポイント～

しめじは、もみがらがついてい
ることもあるので、その部分を
切り落としてから使う。



～作り方～

- (1) ブロッコリーとしめじは小房に分ける。
- (2) 耐熱皿にぶりを入れ、空いているところに(1)も入れる。
- (3) ぶりに酒としょうゆをかけ、ふんわりとラップをして電子レンジ(600W)で4分加熱し、3分程そのまま蒸らす。
- (4) 器に盛りつけ、せん切りにしたゆず皮をちらす